

若葉の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で30回を向かえました。

企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。

今回は3月16日に(株)阪和様を訪問しました。皆さんが廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。



株式会社 阪和

【事業所長から一言】



弊社は、昭和22年に設立してから75周年を迎えようとしております。福島営業所に於いては昭和46年に開設、1F1号機建設から現在に至ります。現在、福島事業所社員在籍数は14名で震災前の約半分まで減少しましたが社員一丸となり、復興へ向けて作業を進めております。今後も1F復興工事に向けて、熱絶縁工事の知識・経験・技術・技能を駆使し微力ながらも復興事業に貢献し、安全最優先で作業に取り組んで参ります。 (松本)

〔福島事業所〕



【2020年2月より富岡町に新事務所開設】

【2022年度 基本方針】

- ・安全衛生関係法令および社内安全衛生管理規定を順守し、安全衛生管理体制のより一層の向上に努める。
- ・安全衛生管理体制の下、計画的かつ継続的に安全衛生管理活動を推進する。
- ・危険性又は有害性等の調査等に積極的に取り組み、労働災害の未然防止や再発防止対策に努める。
- ・安全意識の向上を図る上で、コミュニケーションが重要であることを認識し、その活性化に努める。

《安全・品質活動》

《社内足場組立講習》



- ・足場講師を招いて手順、組立方を学び技能・技術の向上を図る。

《加工機器点検整備》



- ・月末に加工機器の点検・整備を実施。板金加工機器は特殊な機器で製造数も少なく部品等も入手困難なものが多い。

《現場KYミーティング》



- ・現場パトロール、KYミーティングに参加し、安全意識向上・コミュニケーションを図る。

《東京本社主催/安全・品質大会》

※現在は新型コロナウイルスの影響のため、リモートでの開催となっております。



- ・全営業所から本社に集結し、安全・品質に係わる情報共有化を図る。



- ・安全・品質向上に積極的な取り組みを実施した優良企業への社長表彰。

編集後記

今回の発刊に当たり、福島事業所の松本所長と幹事の四家課長代理にはご多忙のところご対応いただき有難うございました。(株)阪和さんといえば震災前から発電所では保温工事関係を手掛けておられました。震災後はベテランといわれる年代の社員の方々が相次いで退職され、残された若手社員への教育や技術伝承に大変ご苦労されたといいました。どんなに技術が進歩しても長い経験と勘に頼るところが多いこの業界において、社内体制を整えるために陣頭指揮を執ることは並々ならないご苦労があったのではないのでしょうか。発電所には地震や津波の被害を受けた配管やバルブが保温材に覆われたままの状態が多く存在します。長期保管や原状回復において必要不可欠な阪和さんの職人技が大いに生かされる日を待ち望んでおります。ご安全に。



発行責任者；事務局長 中島 純一
tel；0240-23-6940 fax；0240-23-6942